

Park-PFIおおみなと臨海公園
官民連携型賑わい拠点創出事業
～認定公募設置等計画の変更について～

むつ市都市整備部 都市計画課
2021年3月



認定計画提出者（Park-PFI事業者）：山内土木株式会社
特定公園施設：広場及び園路

令和2年9月、総合アリーナとウェルネスパークをつなぐ広場と大平ドーム橋と総合アリーナまでの歩行者空間（園路）が完成。広場では植栽等のみどりと青空が見せる開放的な空間が形成され、公園利用者にくつろぎを提供している。スポーツや飲食など様々なイベント開催に利用され、人々の交流や活動によりにぎわいを創出し、オープンスペースを活用した新たなまちづくり拠点の役割を担っている。



新型コロナウイルスの影響を受け 24時間フィットネスジムを取り止め



民間収益施設『IRODORI』
24時間フィットネスジム・本格派コーヒーのカフェ

公募対象公園施設（民間収益施設）：24時間フィットネスジム・カフェ
総合アリーナ内の自動販売機（2台設置済み）

24時間フィットネスジム・カフェ施設『IRODORI』の整備経緯

令和1年10月：実施設計開始

令和2年2月：整備着手

令和2年4月：新型コロナウイルス感染拡大の影響により、R2.9月オープン予定を1年程度延期

令和2年4月～：認定計画提出者による事業内容の再検討

令和3年3月：長期化する新型コロナウイルスの影響により、24時間フィットネスジム・カフェ施設の取り止め
認定公募設置等計画の変更

変更内容：総合アリーナ内にカフェ機能を設置

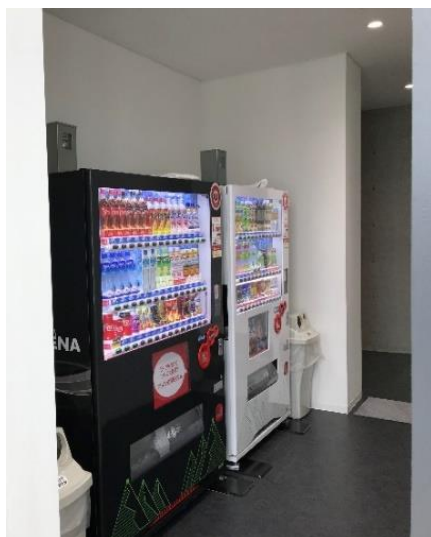
24時間フィットネスジム・カフェ施設の取り止めに伴い、公募指針で定めたカフェ機能等の便益施設の設置について、Park-PFI事業者で再検討を行った。

①コロナ禍での持続的な収益確保について

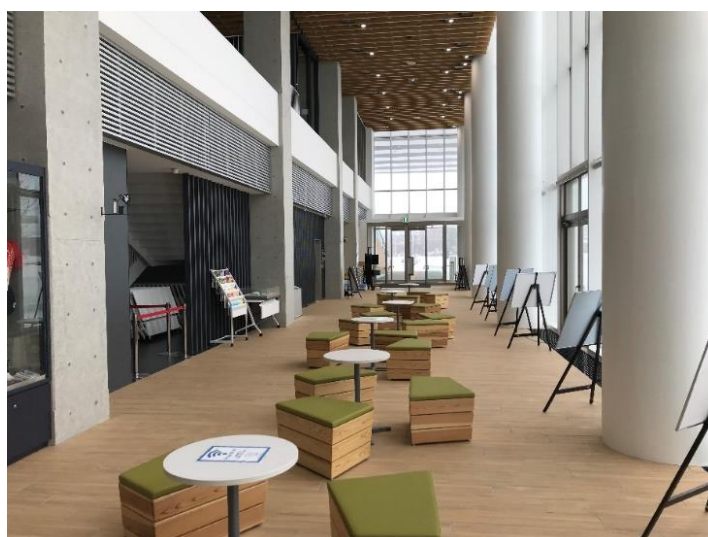
- ・自動販売形式による人件費のコスト削減と、より収益性が見込める総合アリーナ内への設置
- ・広場等のオープンスペースを活用したイベントやフィットネス教室等の開催による収益確保

②新型コロナウイルス感染対策と公園の利便性向上について

- ・人と人が接触する機会を極力避けることができるようカップ式の自動販売機をカフェ機能として設置
- ・アリーナラウンジスペースに近い自販機スペースに設置することで、アリーナラウンジスペースや広場と一体となったくつろぎ空間を創出していく。
- ・軽食等の提供については広場等のオープンスペースの特性を活かし、イベント開催と併せて実施することで公園の利便性向上に努めていく。



自動販売機スペース



総合アリーナラウンジスペース



広場を活用した飲食店の出店

広場及び緑地等のオープンスペースが紡ぐ交流と活動について

新型コロナウイルスの感染拡大は、人々のライフスタイルや価値観が大きく変化を与え、新しい生活様式やニューノーマルな対応による、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図っていくことが重要となっている。このような状況を踏まえ、おおみなと臨海公園Park-PFIでは、密を避けられる広場等のオープンスペースを有効に活用し、青空ヨガ教室やキッチンカーを配置したオープンカフェなど、好きな事ことややりたいことがオープンスペースを介して行われる公園として、公園利便性やエリア価値の向上を図っていく。

